

XVII NACCSパッケージソフトの改善

2014年12月11日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1 . 基本仕様書における方針

第6次輸出入・港湾関連情報処理システム基本仕様書において、パッケージソフトの提供については、以下の方針を示している。

NACCSパッケージソフトについては、
既に利用者側に溶け込んだインターフェース手段として定着していること
操作性や機能についても概ね満足が得られている状況にあること
を考慮し、第6次NACCSにおいても、情報の取得のための機能を含め、利用者インターフェースの中心として提供を行うこととする。

ただし、現行のパッケージソフトについては、
アップデート対象の端末テンプレートのダウンロード作業に時間を要する、
アップデート対象の端末テンプレートが、他業種の利用者に関連するテンプレートである場合でも、
利用業種にかかわらずダウンロードする必要がある
といった問題が存在するため、例えば、「使用する端末資材単位に更新を可能とする仕組み」等の新たな提供方法を導入することとする。

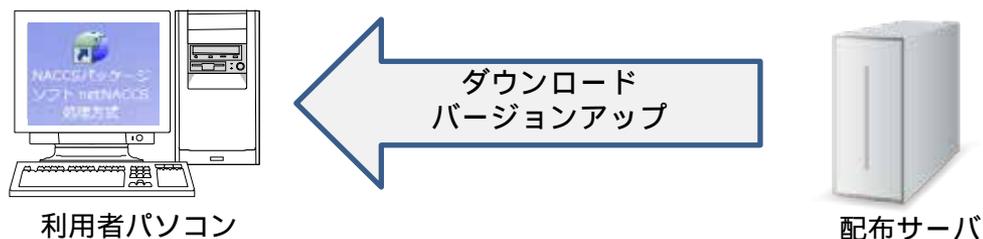


基本仕様書の方針を踏まえ、第6次NACCSにおけるパッケージソフトについては以下のとおり、見直しを図ることとする。

- 1 . 端末資材単位での自動アップデートを可能とし、作業時間の短縮化や作業の簡便化を図る。
- 2 . 複数あるパッケージソフトの集約化を行い、管理・運用面での簡素化を図る。
- 3 . 現行パッケージソフトに対するプログラム変更要望を踏まえ、必要な改善を実施する。
- 4 . netNACCSにおけるデジタル（クライアント）証明書のインストールや更新作業の簡略化等については、ネットワークベンダーの確定後に検討を行い、改善を実施する。

2. パッケージソフトのアップデートにおける新たな提供方法

パッケージソフトのアップデートについては、基本仕様書の方針に沿って新たな提供方法を導入する。



アップデート対象の端末テンプレートのダウンロード作業に時間を要する。

アップデート対象の端末テンプレートが、他業種の利用者に関連するテンプレートである場合でも、利用業種にかかわらずダウンロードする必要がある。

(1) 通常バージョンアップ (随時)

バージョンアップは、共通機能の更新及び使用する業務の端末資材の更新が必要な場合のみを対象とする方式に変更する (不要なバージョンアップが行われなくなり、作業時間の短縮化等が図られる。)。

また、バージョンアップは、あらかじめ「自動更新」を選択 (デフォルトは自動) することによって、利用者が業務画面を表示しようとする時や帳票を出力しようとする時に、自動でバージョンアップが行われるような仕組みとする。

(2) 利用者による明示的な一括バージョンアップ (任意)

上記以外に利用者が任意のタイミングで、一括バージョンアップを行うことも可能とする。

(3) 年1回程度の最新バージョンのパッケージソフト配布

NACCS 掲示板に、年1回程度、最新版のバージョンとなっているパッケージソフトを掲載することによって、必要に応じて、利用者によるインストールを可能とする。

3. パッケージソフトの種類の集約化について

パッケージソフトの種類については、管理面や運用面で煩雑となっていることから、集約化を図る。

第5次NACCSパッケージソフトの種類（H26年12月現在）

項番	種類	処理方式	Air Sea 区分	証明書 監視 ツール	JETRAS 申請書 作成 ソフト
1	NACCSパッケージソフト (民間/Sea/インタラクティブ)	インタラクティブ	Sea		
2	NACCSパッケージソフト (民間/Air/インタラクティブ)		Air		
3	NACCSパッケージソフト (民間/AirSea/インタラクティブ)		Air Sea		
4	NACCSパッケージソフト (銀行/インタラクティブ)		銀行		
5	NACCSパッケージソフト(センター/AirSea/インタラクティブ)		Air Sea		
6	NACCSパッケージソフト (民間/Sea/メール)	メール	Sea		
7	NACCSパッケージソフト (民間/Air/メール)		Air		
8	NACCSパッケージソフト (民間/AirSea/メール)		Air Sea		
9	NACCSパッケージソフト (銀行/メール)		銀行		
10	NACCSパッケージソフト (センター/AirSea/メール)		Air Sea		
11	NACCSパッケージソフト (民間/Sea/netNACCS)	net NACCS	Sea		
12	NACCSパッケージソフト (民間/Air/netNACCS)		Air		
13	NACCSパッケージソフト (民間/AirSea/netNACCS)		Air Sea		
14	NACCSパッケージソフト (JETRAS)		Air Sea		
15	NACCSパッケージソフト (銀行/netNACCS)		銀行		
16	NACCSパッケージソフト (窓口電子申告端末用)	net NACCS	個人通関用		
17	WebNACCS電文受信ソフト	net NACCS	Air Sea		
18	NACCSパッケージソフト (医薬/インタラクティブ)	インタラクティブ	医薬		
19	NACCSパッケージソフト (医薬/netNACCS)	net NACCS	医薬		

第6次NACCSパッケージソフトの種類（集約後）

項番	種類	処理方式	Air Sea 区分	証明書 監視 ツール	JETRAS 申請書 作成 ソフト
1	NACCSパッケージソフト	インストール時に、インタラクティブ/メール/netNACCSから選択する。	全テンプレート		
2	NACCSパッケージソフト(窓口電子申告端末用)	netNACCS	個人通関用		

netNACCSのみインストールされる。



【集約化の概要】

- パッケージソフトの種類が集約されることにより、いずれをインストールすれば良いのか、迷うことがなくなる。
- 集約後においても1台のパソコンで複数の処理方式（例えばインタラクティブとメール）が利用できるようにする。

4. プログラム変更要望について (実施可)

プログラム変更要望のうち、以下の項目については、プログラムの必要な改善を実施する。

	内 容	現 行 仕 様	第6次NACCSにおける対応
1	パッケージソフトのアップデート方法	アップデート対象の端末テンプレートのダウンロード作業に時間を要する。 アップデート対象の端末テンプレートが、他業種の利用者に関連するテンプレートである場合でも、利用業種にかかわらずダウンロードする必要がある。	パッケージソフトのアップデートについては、前記2及び3のとおり、改善を実施する。
2	外部ファイルに保存した過去データの再利用	仕様変更後に、入力項目の変更等により外部ファイルに保存していた過去データが使用できなくなる。	仕様変更後においても、過去データの外部ファイルから再利用を可能とする。
3	パッケージソフトの集約化	パッケージソフトの種類が多すぎて、どれをインストールしてよいか分からない。 テンプレートが無い場合出力帳票の表示ができない。	インストール時に選択が容易となるよう、パッケージソフトの集約化を実施する。(集約により出力帳票の表示も可能となる。)
4	デジタル(クライアント)証明書	新規取得、更新方法が煩雑である。 新規取得、更新後にパッケージソフトへの設定を手動で行わなければならない。	デジタル(クライアント)証明書の更新手続等の簡素化については、ネットワークベンダー確定後に改善策を検討する。
5	メニュー構成の見直し	メニュー内の項目について、どのカテゴリの場所にあるのかが分かりにくい。	メニュー構成について、分かりやすさに配慮のうえ、見直しを実施する。
6	コピー&ペースト機能	添付ファイルや業務画面へ外部ファイルを読み込む際に、パッケージソフト上で選択しなければならない。	ファイルのコピー&ペースト機能を新たに設ける。
7	ツールバーのカスタマイズ化	ツールバーについて、現状「標準」と「業務」でしか設定ができない。また、古い電文の一覧表示について、場所がわかりづらい。	ツールバーのカスタマイズ設定機能を新たに設ける。
8	表示文字の大きさ設定可能化	パッケージソフトにおいて、表示文字を大きくするには表示 送受信電文一覧文字サイズで大・小・元の大きさしかない。	パッケージソフトの表示文字の大きさ設定を新たに設ける。なお、表示の崩れが起きないようにズームの上限値・下限値を設ける形とする。
9	業務単位での確認画面設定可能化	関係省庁に申告・申請する業務について、送信時に確認する画面が無い。	誤送信防止のため、業務単位での確認画面設定機能を新たに設けて、利用者が任意に業務単位に設定が可能となるようにする。

4. プログラム変更要望について (実施可)

	内 容	現 行 仕 様	第6次NACCSにおける対応
10	添付ファイル拡張子の太文字使用可能化	添付ファイルの拡張子に太文字を使用すると、チェックでエラーとなる。	添付ファイルの拡張子に太文字小文字を問わず、使用することを可能とする。
11	オプション画面における自動印刷設定方法	自動保存設定とは異なり、自動印刷を行うものを個別に設定できない。	オプション画面において、自動印刷を行うものを個別に設定可能とする。
12	オートコンプリート表示サイズの調整	オートコンプリートのリスト横幅が小さく、履歴の文字列が表示しきれていない場合がある。	オートコンプリートのリスト横幅を拡大して、表示が可能となるようにする。併せて不要な履歴の削除が可能となるようにする。
13	送受信中キャンセル時の二重受信防止対応	メール処理方式において、送受信中にキャンセルすると二重に電文が受信される場合がある。	電文の二重受信を防止する改善を行う。
14	印刷方法の設定可能化	出力情報の印刷について、例えば、5枚ものを2部出力させる時、現行では、1/5が2部、2/5が2部、3/5が2部、4/5が2部、5/5が2部と出力されるため、1/5、2/5、3/5、4/5、5/5を1部として、2部出力することができない。	印刷方法において、ソート機能の選択を可能とする。 (利用者が任意に設定)
15	メイン画面の入力項目および送受信電文一覧のZSゴシック化	利用者IDやメールボックスID等のゼロとオーとの区別ができない。	ゼロとオーの区別を容易にするため、ZSゴシック化を採用する。
16	アラーム音設定	パッケージソフトの設定でアラーム音を鳴らすようにしていたのに、Windows7から鳴らなくなってしまった。	OS及びPCに依存するBEEP音の利用を廃止し、WAVファイルによるアラーム音を採用する。
17	電文保存期間のデフォルト日数	インストール時は1日がデフォルト設定されており、翌日電文が消えてしまう。	電文保存期間のデフォルト日数を10日に変更する。
18	自動バックアップの設定	インストール時は自動バックアップ機能にチェックが入っていないため、自動バックアップが機能しない。	バックアップ機能のデフォルトをあらかじめ「自動」とした形で提供する。
19	自動バージョンアップの設定	導入時は手動になっており、自動バージョンアップがされない。	バージョンアップ機能のデフォルトを「自動」とした形で提供する。(なお、ダイヤルアップ回線の場合、自動設定のままですると、起動時にNACCSと接続が行われ、通信料が発生することから、必要に応じて自動機能の解除が必要となる。)

4. プログラム変更要望について (実施可)

	内 容	現 行 仕 様	第6次NACCSにおける対応
20	印刷プレビューのサイズ	パッケージソフトの印刷プレビューのサイズのデフォルトが「100%」に設定されていない。	印刷プレビューサイズのデフォルトを100%とする。また、設定値の変更をした場合、次回以降の利用時でも設定後の値で表示を可能とする。
21	プロキシサーバー設定	プロキシサーバー設定が手動となっており、社内でのインターネット設定を変更すると、パッケージソフトが使えなくなる。	利用者がインターネット環境の変更を実施した際、当該環境に合わせてプロキシサーバーの設定を自動で変更等が行われるよう改善を実施する。
22	トレースログの保存	トレースは最大1MBで2世代まで保存されるが、業務量によっては数十秒しかトレースログが残らない。	ログについては、日付単位で7日間分保持するように変更を行う。
23	ログオン	インタラクティブとnetNACCSの利用者ID、パスワードを間違えて入力してもログオンができてしまう。	誤って入力した場合は、ログオン時点でエラーとなるように改善を行う。
24	管理資料取だし・再取だし	管理資料取だし・再取だし画面を閉じないと保存先フォルダを開けない。	管理資料取だし・再取だし画面を開いた状態で保存先フォルダの展開が可能となるよう改善を図る。
25	初期画面の「検索区分」	デフォルトが業務コードとなっており、パッケージソフトの起動の度にデフォルトの業務コードに戻ってしまう。	利用者が選択した検索区分を次回利用時にも維持するよう改善を行う。
26	検索する文字列	検索枠が半角29桁になっているが、B/L番号35桁化に伴い、表示枠を拡大する必要がある。	検索する文字列の最大入力桁数について、半角で64桁にする。
27	業務エラーの内容	エラー内容や対処方法がわかりにくく、内容が実態と合っていないことが多い。	業務エラーの内容については、分かりやすさを配慮のうえ、必要な見直しを実施する。
28	入力項目ガイドの内容	入力項目ガイドにある「入力方法は(本文)7.特記事項を参照」だけでは、業務仕様書にあることがわからない。	入力項目ガイドの内容については、分かりやすさを配慮のうえ、必要な見直しを実施する。

5. プログラム変更要望について (実施不可)

以下の項目については、費用対効果が見込めないことや開発規模が大きくなること、パッケージソフトの仕組み上困難等の理由から、プログラム変更を実施しないこととする。

	要望元	変更要望内容	検討状況
1	事務所個別	パッケージソフトのツール(表示方法、戻るボタン等)、オプション設定(端末、サーバ、自動保存、自動印刷等)、グリット機能等、Microsoft Officeより相当劣っているため、改善してほしい。	全ての機能をMicrosoft Officeの形式に合わせることは、開発規模が大きくなること、またパッケージソフト固有の機能もあることから実現は困難です。
2	JAJA	以前のようなフラットな画面の文字、数字等見やすくしてほしい。例えば2色ずり画面のような入力された文字と基本的に項目等の動かない文字と色違いにしてほしい。	全ての画面で変更を行うことは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
3	成田通協	印字される文字が小さすぎるため、旧NACCSと同じ文字の大きさにしてほしい。	文字を大きくすると帳票サイズに収まらなくなり、帳票枚数が増えることとなります。賛否双方の意見が想定されるため対応は行いません。
4	成田通協	入力欄必須の個所にマウスポイントするとヘルプメッセージが表示されるが、ヘルプメッセージを表示するか否か選択できるようにしてほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
5	成田通協	業務入力画面の左側フレームを表示するかしないか選択できるようにしてほしい。また、フレーム不使用のときは、エラー等の業務メッセージが何らかの形で分かるようにしてほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
6	事務所個別	利用者IDを間違えて入力しても(例えば「0(ゼロ)」を「O(オー)」に間違えた等)、メールボックスIDが正しければ送信だけはできてしまうため、利用者IDを間違っている場合、送信ボタンを押した時点でエラーで教えてくれる仕様に変更してほしい。	要望が他に無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。なお、利用者IDやメールボックスID等のゼロとオーの区別については、要望が多数寄せられていることから、メイン画面の入力項目および送受信電文一覧について、ZSゴシック化を行い、区別が可能となるようにします。
7	事務所個別	パッケージソフトの機能であるファイルの「繰返入力」を行った際に初期画面に戻さなくても、入力済みのウィンドウを残し、別ウィンドウが立ちあがるようにしてほしい。	パッケージソフトの繰返入力機能は、業務送信後に引き続き新規に業務を行う場合に利用する機能になります。要望の内容については、要望が他に無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。

5. プログラム変更要望について (実施不可)

	要望元	変更要望内容	検討状況
8	事務所個別	業務入力画面において「元に戻す」ボタンをクリックした際、直前に入力した事項を表示してほしい。	パッケージソフトの元に戻す機能は、項目ごとに世代を持っており、項目を選択して「元に戻す」をクリックすると、前の情報を表示します。 Microsoft Officeのように、業務画面全体で元に戻す動きにすることは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
9	事務所個別	輸出許可情報の配信処理時間を改善してほしい(NACCSの電文振り分け機能を利用し、輸出許可になると自動的に許可承認情報フォルダへ保存されるように設定しているが、許可になっているにもかかわらず情報がなかなか配信されない。)	現行システムにおいて、パッケージソフトのオプション設定にある自動送受信タイマーを、最小5分に設定することが可能です。 5分より更に短縮することは、サーバに大きな負荷が掛るため実現は困難です。
10	事務所個別	現行の送受信電文一覧印刷をCSVデータとして取り込めるようにしてほしい。	要望が他に無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
11	JAJFA	輸出入申告及び税関の許可入力時、許可情報が即時に受信されるよう変更してほしい。なお、NACCSパッケージソフトのオプション設定にある、帳票取出のタイムをミニマムの5分に設定しているが、それでも以前に比べて不便に感じている。	自動送受信タイマーを5分より更に短縮することは、サーバに大きな負荷が掛るため実現は困難です。
12	事務所個別	「輸入申告事項登録(IDA)」業務及び「輸出申告事項登録(EDA)業務」等の戻り画面において、背景色を変える又は注意喚起メッセージを表示する等し、事項登録画面と申告画面の区別がつくようにしてほしい。	パッケージソフトの業務画面については、利用者により対象となる業務や使用方法が異なるため、費用対効果の観点からパッケージソフトの仕様変更では対応は行いません。
13	日海貨	訂正変更等が多数あった場合、どれが最新情報が分からないため、非同期電文に日付時間を出力してほしい。	全ての帳票で日付時間の出力を行うことは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
14	日海貨	管理資料について、手動で配信の都度取出しするのではなく、指定フォルダへ自動的に受信できるようにしてほしい。	管理統計資料の自動受信については、サーバに大きな負荷が掛るため実現は困難です。
15	事務所個別	各業務画面の必須項目について、項目の後の*印および入力部分の水色のみではなく、項目を太字で強調するような形にして必須項目が、よりわかりやすくなる表示に改善してほしい。	全ての画面で変更を行うことは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
16	事務所個別	注意喚起のアラームですが、色々音を選べたり、音量も調整できると使いやすいと思う。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。

5. プログラム変更要望について (実施不可)

	要望元	変更要望内容	検討状況
17	事務所個別	エラーの内容により色の違いなどで視覚で確認、判断できるような機能を付け加えることも考えるべきではないか。	全ての画面を色違いにすることは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
18	事務所個別	古い電文の一覧表示について、検索方法が複雑であるため、簡易な方法で検索ができるように改善してほしい。	検索方法については、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
19	事務所個別	ユーザーキー設定は、以下の項目は設定できないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・全チェックボックスをチェックする ・全チェックボックスのチェックを解除する ・再送防止オフ ・フィールド属性表示 ・文字を大きくする ・文字を小さくする ・元の大きさに戻す また、設定画面がタブ表示となっており、設定がしづらいため、改善してほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
20	事務所個別	プリンタの設定で、日付出力の設定ができるようにしてほしい。	全ての帳票で日付出力を行うことは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
21	事務所個別	送信した電文も自動印刷ができるようにしてほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
22	事務所個別	複数の業種が可能な業務(例：SHS業務)について、業務を行った者ごとに振り分けられるように、同じ出力コードの電文について、パッケージソフトの自動振り分け機能で振り分け設定ができるようにしてほしい。	電文の振り分けについては、出力情報コードごとに設定が可能となっています。更に細かい単位で設定を設けることは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
23	事務所個別	パッケージソフトで、DPI設定を「大きなサイズ(120DPI)」でも対応できるようにしてほしい。	利用者の使用方法に合わせたDPI設定に対応することは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。 なお、パッケージソフトにおいて、表示文字の大きさを指定する設定機能を新たに設けます。
24	事務所個別	管理資料取出し・再取出しが複雑であるため、簡易な方法で取出しができるように改善してほしい。	管理資料取出し・再取出し方法を変更することは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。

5. プログラム変更要望について (実施不可)

	要望元	変更要望内容	検討状況
25	事務所個別	障害に対して簡単に復旧できるような仕組み(設定情報・受信電文のバックアップとリストア)を実装することはできないか。	仕組みを設けることは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
26	事務所個別	A端末で申請し、その結果がA端末に戻ってきますが、A端末が壊れてしまうと、受信した結果通知が確認できず、その他の端末で訂正等が行えません。その他の端末で、再度結果通知を受信する事ができるようにしてほしい。	現行システムにおいて、自動保存設定で受信電文を共有フォルダ等に保存することが可能です。他の端末で受信した後の電文も取り出せるようにすることは、サーバでの処理が増加する要因となり、システム上で不具合が生じる可能性が高いことから実現は困難です。
27	事務所個別	ごみ箱にある電文を指定して削除したいが、指定した電文だけ個別に削除できるようにしてほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
28	事務所個別	不要な電文が大量に受信されるので、自動でごみ箱等に振り分け設定できる、削除設定できる機能を設けてほしい。	現行パッケージソフトにおいて、受信ボックスに新たにボックスを設けることが出来ます。不要な電文をそこに自動振り分けする設定をすることにより、対応が可能です。
29	事務所個別	パッケージソフトの画面で受信フォルダには子フォルダを作成できますが、送信対象・送信済みフォルダにも作成できるようにしてほしい。	他に要望が無く、費用対効果が見込めないことから対応は行いません。
30	事務所個別	許可書等の帳票を受信した後、パッケージソフトの機能で、PDF化しての保存ができるようにしてほしい。	全ての帳票でPDF化を行うことは、開発規模が大きくなることから実現は困難です。
31	事務所個別	KIOSK端末の業務画面は機能が充実しているので、次期ではKIOSK端末の対象業務だけでも、その「作り」を民間用NACS端末にも導入してほしい。	パッケージソフトの業務画面については、利用者により対象となる業務や使用方法が異なるため、費用対効果の観点からパッケージソフトの仕様変更では対応は行いません。